鹿市医郷壇

500　樋口　一風　選

兼題「ペット」

天

上町支部　**吉野なでしこ**

家主よかでんち寝転っ肥満猫

（唱）態度あ丸で妻てそっくい

（評）ペットは長く飼っていると、自分は人間のつもりでいるのではないかと思うぐらい威張っています。

動物の性でしょうか、家族内の順番を見極める能力が有るようで、まず餌を呉れる人はパトロンで一番偉い人です。

そのパトロンから叱られているご亭主はランクが一番下のようで、猫にさえ舐められてしまいます。だから家庭内では二番目に偉いのは猫様で、一番良い場所に「でん」と寝転がっています。猫のかねての様子が描写されています。

地

紫南支部　**二軒茶屋電停**

ITの機械んペットい癒されっ

（唱）優し物言で丸で我が孫

（評）ペットとは、愛玩動物のことですが、S社のアイボやF社のパルロやITを使って最先端の人工知能を搭載しているそうです。ロボットは高いけれども老人のお相手をして、癒してくれるそうですからペットでしょう。でも何となく寂しいです。機械でなくて人間の温かさが欲しいです。

人

清滝支部　**鮫島爺児医**

ペットいな我がよか高か飯す食せっ

（唱）金が無か時か亭主あ茶漬け

（評）この前テレビで観ました。ペットには鮪のトロを食べさせているとか、いくら富裕層とは言えあんまりです。

ペットを〇〇ちゃんと呼び、我が子と考えている人には、当たり前なのでしょうか。渋柿誌にこんな句がありました。

「次の世は奥様宅の犬か猫」　**窪　三難坊**

生まれ変わるなら、金持ちの家の犬か猫に生まれて、贅沢な暮らしをしたいと、贅沢なペットに対する、庶民の羨望を詠んだものである。

五客一席　伊敷支部　**谷山五郎猫**

ペット好っ犬じゃ猫じゃち煩らしゅし

（唱）家族ん事どま後回ししっ

五客二席　**飛脚子一郎**

飼主いも死目を見せじ猫あ逝っ

（唱）天命ゆば知っ獣の矜持

五客三席　清滝支部　**鮫島爺児医**

人よっかペットん病が高け治療

（唱）俺が保険ぬ使えち頼ん

五席四席　上町支部　**吉野なでしこ**

平然しっ飼主と添寝ん可愛か猫

（唱）当たい前じゃち寝床い這込っ

五客五席　清滝支部　**鮫島爺児医**

高けペット野良猫いも逃げ回っ

（唱）血統が良かで箱入い娘

秀　逸

清滝支部　**鮫島爺児医**

ペット猫鼠の声い目が怯っ

犬と猫ペット同士して喧ん合っ

ペットでん人ん愛情が良う解っ

ペット同士平等いせんな凄ぜ妬ん

上町支部　**吉野なでしこ**

捨て猫も甘ちゃんになっ纏付っ来っ

伊敷支部　**谷山五郎猫**

ペット好か犬ん子を猫可愛がい

薩摩郷句鑑賞　139

薩摩狂句暦から　三條風雲児著

飛脚子一郎

可哀相し猫悪い飼主しから縛られっ

半夏ん団子田の神様も貰れださじ　**久保山三蔵塚**

半夏至のことを、「はげっしょ」とか「はげっそ」と言ったり、「はげ」と言う。この半夏至のころまでに田植えをすませないと、収穫が減ると言われたものである。

今日はその半夏生。この日は、「はげだご」と言う、白い米の団子を作って食べたり、串に刺して田の神様にお供えしたものであるが、この頃機械植えになったせいか、「早苗餐」（さのぼい）もすたれ、「半夏団子」を作らなくなったようである。田の神様も、寂しい思いをなさっていることだろう。

熨斗袋薄した受付つまんみっ　**加治屋心眼**

結婚式か、あるいは何かの祝賀会か、とにかく祝いごとであったであろう。招かれたひとたちは、それぞれ受付でご祝儀を出して、会場に入って行くわけである。ところが、熨斗袋が大変薄いので、これは中にお金を入れ忘れたのではないかと思って、受付係が「つまんみた」とは、いかにもありそうなことであり、真実味のある句である。

薩摩郷句募集

◎9号
題　吟　「手（て）」
締　切　令和3年8月5日(木)

◎10号
題　吟　「薬（くすい）」
締　切　令和3年9月6日(月)

◇選　者　樋口　一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあてててくださいます。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九―二二六―三七三七
FAX　〇九九―二二五―六〇九九
E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp